#### JLTAV 2022 Practice Exam Number 1 – Transcripts and Sample Answers

This marking guide contains:

- Suggested answers for each question
- Suggested marks for each question
- Sample responses for the writing tasks

**Note:** This marking guide has not been endorsed by the VCAA. Words and phrases in brackets are optional in student responses.

# **SECTION 1 (Part A: Listening and responding in English) TEXT 1**

今日は先週土曜日に三年ぶりに行われた山白高校文化祭についての話をしたいと思います。去年と一昨年はコロナのために、文化祭ができませんでした。なので、今年は三年生を中心として、学校全体で食べ物のお店を出したり、撮った写真を見せたり、ダンスと音楽のパフォーマンスをしたりしました。山白高校の文化祭は伝統的に一年生は食べ物のお店を出せない決まりがありました。しかし、今年は一年生も食べ物屋を出すことができたので、焼きそばやお好たきや焼き鳥などを一生懸命作っていました。また、今年は先生たちも初めて文化祭で一つだけ出し物をしました。先生たちがしたカラオケ大会は生徒たちに大人気でした。今年の文化祭は学校のホームページだけでなく、ソーシャルメディアを使ったり、近所のコンビニにポスターを張って貰ったりしたので、たくさんの人たちが文化祭に来てくれました。文化祭に来てくれた人にしたアンケートによると、いい点がたくさんありましたが、長い待ち時間やごみ箱の不足や音楽がうるさ過ぎるなどの問題があげられていました。今日の放課後は文化祭で使ったお店などの後片付けがありますので、みなずんが見ましょう。これで文化祭についてのレポートを終わります。

#### Question 1 (10 marks)

- a. When was the last cultural festival at Yamashiro high school? (1 mark)
- Three years ago
- b. What did the students organise for the cultural festival? (3 marks)
- Food stalls
- Showing photos that students took
- Dance and music performance
- c. What was different in this year's cultural festival? (2 marks)
- The first-year students were allowed to have food stalls (1 mark)
- Teachers organised an activity for the first time (1 mark)
- d. What does the speaker say about some problems raised by the people who came to the cultural festival? (3 marks)
- Long-waiting time (1 mark)

- Insufficient rubbish bins (1 mark)
- Loud music (1 mark)
- e. What do students need to do after school today? (1 mark)
- Pack up the shops used in the cultural festival

### **SECTION 1 (Part B: Listening and responding in Japanese)**

#### TEXT 2

1127112	
エマ	おはよう、しろう着。
しろう	あ、エマさん、おはよう。
エマ	ねぇ、しろう君、ソロキャンプって知ってる。
しろう	一人でキャンプに行くことだよね。一人で好きなところに行ったり、時間を
	自由に過ごせたりできるから、今すごく人気だよね。僕も一回はやってみたい
	と思ってるんだ。エマさんは。
エマ	私は、来週末に初めてソロキャンプに行く予定なんだ。
しろう	へー、すごいね。もう準備はできた。
エマ	もう、大分できてきたよ。でもまだ、大きいバックパックと寝袋とヘッドライ
	トを買わないといけないの。
しろう	そっか。それから、食べ物はどうするの。
エマ	まだ決めてないの。
しろう	<sup>かんたん</sup> そうなんだ。じゃあ、簡単でおいしいから、インスタントラーメンはどう。
エマ	いいね。じゃあそうしようかな。ありがとう。
しろう	あと、どこに行く予定なの。
エマ	がわぐちこ 河口湖の近くのキャンプ場に行くつもり。
しろう	いいね。僕もそこで、小さいときに家族でキャンプしたことあるよ。車だけで
	なく、バスでも行けるから便利だよね。
エマ	うん。そうなの。じゃあ、私そろそろ買い物に行くね。
しろう	じゃあ、来週末のソロキャンプ楽しんでね。
エマ	うん。ありがとう。じゃあね。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

#### Question 2 (10 marks)

- a. According to Shirou, why is solo-camping popular now? (2 marks) しろう $\stackrel{\stackrel{\leftarrow}{2}}{2}$ によるとなぜソロキャンプは今人気がありますか。
- 一人で好きなところに行ったり(1 mark)、時間を自由に過ごすことができるから(1 mark)
- b. When is Emma planning to go solo-camping? (1 mark) エマさんはいつソロキャンプに行く予定ですか。
- 来週末
- c. What does Emma still need to buy? (3 marks) エマさんがまだ買わなければいけない物は何ですか。

- 大きいバックパック
- ・ 寝袋
- ヘッドライト
- d. What does Shiro suggest Emma cooks? Why? (2 marks)
  しろう君はエマさんに何を料理することを提案しますか。なぜですか。
- インスタントラーメン
- \*\* 簡単でおいしいから
- e. Where is Emma planning to go solo-camping? Why? (2 marks) エマさんはどこにソロキャンプに行く予定ですか。なぜですか
- かわぐちこ河口湖の近くのキャンプ場
- バスで行けるから

### SECTION 2 (Part A: Reading, listening and responding in English)

TEXT 3B	
Interviewer	ああ、こんにちは。すみませんが、日本語が話せますか。
Traveller	はい、少し話せます。
Interviewer	東京テレビのわたなべりょうです。今日は成田空港で外国から到着した方
	にインタビューしています。今日のテーマはコンセプトカフェです。ちょ
	っとよろしいですか。
Traveller	はい、だいじょうぶです。
Interviewer	日本にいる間に、コンセプトカフェに行くよていですか。
Traveller	はい、まんがカフェに行くことを考えています。まんがが大好きで、将来
	まんが家になろうと思っています。インターネットで読みましたが、マン
	ガカフェでまんがのかき方のワークショップにさんかすることができるそ
	うです。そして、まんがカフェで一晩泊まりたいです。一日二十四時間あ
	いているし、シャワーと食事もただだそうですから、とてもべんりだと思
	います。
Interviewer	いいですね。ペットカフェはどうですか?
Traveller	そうですね。多分行かないかもしれません。東京に住んでいる人はせまい
	アパートに住んでいますから、自分のペットをかうことが出来ません。で
	も、私はオーストラリアに住んでいて、ひろい国だから、ペットはだいじ
	ょうぶです。じつは、私は大きい犬と馬をかっています。ですから、私は
	日本で動物とあそばなくてもいいです。そして、ペットカフェはそんなに
	よくないと思います。人とあそびたくない動物はストレスをかんじるかも
	しれないし、小さいカフェですごすよりしぜんの中ですごしたほうがいい
	と思います。ペットカフェには行きませんが、他のカフェの体験を楽しみ
	にしています。
Interviewer	じゃ、楽しんで下さい。インタビューありがとうございました。

#### Question 3 (20 marks)

- a. According to the reading text (Text 3A), what is a concept cafe? (2 marks)
- Cafes where you can have a unique experience
- For example, cat, ninja, or robot cafes
- b. Referring to the reading text (Text 3A), what kind of people go to the café the writer went to, and why do they go to this kind of café? (4 marks)
- Older people because it reminds them of their childhood (2 marks)
- Foreigners because it's a chance to experience Japanese culture (2 marks)
- c. According to the reading text (Text 3A), for what kind of person would this café not be such a good experience and why? (2 marks)
- Young people
- Because they are still at school so it's boring
- d. According to the listening text (Text 3B), what type of café will the visitor to Japan visit and why? (4 marks)
  - Any four out of the seven answers below:
- Manga café.
- He likes manga.
- Wants to become a manga artist in the future.
- They do workshops to learn how to draw manga.
- You can stay there
- It's open 24 hours a day so it's convenient.
- Food and showers are free
- e. Provide four reasons why the person being interviewed would not go to a pet café. (4 marks)
- Lives in Australia which is a spacious country so they can own their own pets
- They think pet cafes are not good
- Some of the animals might become stressed because they do not want to play with people
- They might prefer to live in the wild rather than live in a small café
- f. Using information from both the reading text (Text 3A) and the listening text (Text 3B), explain why Japanese people like to go to concept cafés (2 marks)
- They can experience things from their past
- They can play with animals because they can't own their own because they live in small apartments
- g. Using ideas from both the reading text (Text 3A) and the listening text (Text 3B) explain why some people may not want to visit a concept café (2 marks)

  Any two out of the three answers below:
- Foreigners might be surprised by being able to order whale
- It might be boring for some young people as it's a school experience
- They might not want to play with animals.

SECTION 2 (Part B: Reading and responding in Japanese)
This is a sample response only. It is not an example of a high scoring response. It is for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in this response.

	お	じ	V	さ	ん	と	お	ば	あ	さ	ん	~							
	元	気	0	私	は	元	気	だ	ょ	0	き	ゆ	う	に	さ	む	<	な	2
た	か	6	,	あ	た	た	カュ	<	し	て	ね	0	ال	の	前	テ	レ	ビ	で
見	ま	ŧ	り	П	ボ	ツ	1	の	٢	と	に	つ	٧١	て	知	つ	て	`	お
じ	V	さ	ん	٢	お	ば	あ	さ	ん	の	家	に	۲	の	口	ボ	ツ	<u>۲</u>	が
あ	つ	た	Ġ	٧١	٧١	と	思	つ	て	メ	_	ル	を	書	٧١	た	の	0	
	Γ	٧١	ま	イ	ル	モ	J	٤	٧١	う	口	ボ	ツ	<u>۲</u>	は	色	々	な	セ
ン	サ	_	が	つ	٧١	て	い	て	`	動	き	と	カュ	お	ん	تخ	を	は	カュ
る	Ĺ	と	が	で	き	る	の	0	で	ŧ	`	カ	メ	ラ	を	使	わ	な	い
カュ	ò	し	ん	ぱ	٧١	し	な	٧١	で	0	<i>\</i> \	つ	ŧ	通	り	の	生	活	が
で	き	る	よ	う	に	な	2	て	<i>١</i> ٧	る	の	0	何	カュ	ŧ	ん	だ	<i>١</i> ٧	が
あ	つ	た	Ġ	,	П	ボ	ッ	<u>۲</u>	が	私	達	に	れ	ん	6	<	し	て	<
れ	る	ん	だ	0	<	す	り	を	飲	む	時	間	ŧ	教	え	て	<	れ	る
L	`	た	<	さ	ん	の	人	は	٧١	ま	イ	ル	モ	が	家	に	V	た	ò
あ	ん	ぜ	ん	だ	と	思	う	Ġ	し	<i>\</i> \	0								
	お	じ	V ١	さ	ん	と	お	ば	あ	さ	ん	は	私	達	カュ	5	と	お	<
に	住	ん	で	V)	る	カュ	5	,	٧١	つ	ŧ	し	ん	ぱ	٧١	0	見	ま	ŧ
り	口	ボ	ッ	 	を	家	に	お	<i>\\</i>	て	み	な	V)	0	ま	た	メ	_	ル
を	書	<	ね	0															
													オ	IJ	ビ	ア	よ	b	

### **SECTION 3 (Writing in Japanese)**

These are sample responses only. They are not examples of high scoring responses. They are for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in these responses.

## **Question 5**

Zucs	uon .																		
			オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	う							
												力	イ	•	グ	IJ	_	ン	
	さ	٧١	近	私	た	ち	の	学	校	は	オ	ン	ラ	1	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ
う	を	す	る	۲	ک	が	ょ	<	あ	ŋ	ま	す	0	校	長	先	生	に	聞
V	た	話	に	よ	る	٤	,	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ļ	う	を	す
る	ŋ	ゆ	う	は	生	٤	だ	け	で	な	<	先	生	た	ち	ŧ	コ	П	ナ
に	カュ	为 <sup>2</sup>	つ	て	l	ま	V	家	に	Į,	な	け	れ	ば	な	Ġ	な	٧١	カ <sub>2</sub>
6	だ	そ	う	で	す	0	私	は	学	校	に	行	つ	て	勉	強	す	る	方
が	好	き	で	す	が	`	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	う	に	ŧ	V
٧١	点	が	あ	る	٤	思	い	ま	す	0	ま	た	わ	る	٧١	点	ŧ	あ	ŋ
ま	す	0																	
	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	ð	で	は	自	分	の	好	き	な	ょ
う	に	勉	強	が	で	き	ま	す	0	た	と	え	ば	,	先	生	の	話	を
聞	٧١	た	後	は	コ	ン	ピ	ユ	_	タ	_	を	使	つ	て	`	自	分	の
~°	_	ス	で	お	ん	が	<	を	聞	き	な	が	6	勉	強	す	る	7.	٤
が	で	き	ま	す	0	そ	れ	に	,	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	う
で	は	好	き	な	時	に	休	to	7.	٤	ŧ	で	き	ま	す	0			
	し	カュ	L	`	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	う	だ	٤	ŧ	l	分
か	6	な	٧١	۲	٤	が	あ	る	時	に	す	<"	に	先	生	P	友	だ	ち
に	し	つ	ŧ	ん	す	る	2	٤	が	で	き	ま	せ	ん	0	ま	た	,	コ

ン	۲°	ユ	_	タ	_	が	۲	わ	れ	て	し	ま	つ	た	b	,	イ	ン	タ
_	ネ	ツ	٢	に	つ	な	が	5	な	か	2	た	ŋ	す	る	時	な	ど	は
じ	ゅ	ぎ	ょ	う	に	出	る	۲	٤	が	で	き	ま	せ	ん	0			
	オ	ン	ラ	イ	ン	じ	ф	ぎ	ょ	う	に	は	い	い	点	٤	わ	る	い
点	が	ŋ	よ	う	方	あ	る	ع	思	٧١	ま	す	0	毎	日	オ	ン	ラ	1
										<u> </u>	l I		I	<u> </u>	I			<u> </u>	
ン	じ	ゆ	ぎ	ょ	う	を	す	る	の	は	ょ	<	な	い	で	す	が	`	コ
П	ナ	が	な	<	な	つ	て	ŧ	た	ま	に	は	学	校	に	行	か	な	い
で	家	か	Ġ	勉	強	す	る	き	カュ	い	が	あ	る	の	₽	٧١	い	٤	思
い	ま	す	0																
	l		l .			l .		l .		l .	l .	l .	1	l .					

## **Question 6**

Zucs	uon (	J																	
	み	な	さ	ん	,	2	ん	に	ち	は	0	今	日	は	三	年	前	に	家
族	٤	日	本	^	行	つ	た	時	に	学	ん	だ	`	色	A	な	日	本	٤
オ	_	ス	<b>١</b>	ラ	IJ	ア	の	マ	ナ	_	٤	工	チ	ケ	ツ	1	の	ち	が
V	に	つ	٧١	て	話	L	た	٧١	ح	思	V	ま	す	0					
	ま	ず	,	ひ	2	う	き	に	乗	る	前	に	`	日	本	人	の	パ	イ
D	ツ	ŀ	は	お	き	や	<	さ	ん	に	お	れ	V	を	L	ま	L	た	0
そ	l	て	`	日	本	の	お	店	で	店	V	h	ŧ	て	٧١	ね	٧١	に	お
れ		を	l	て	`	Γ	V	Ġ	2	L	や	٧١	ま	せ	J	٤	言	٧١	ま
L	た	0	オ	_	ス	<u>۲</u>	ラ	IJ	ア	で	は	`	ひ	۲	う	き	に	乗	2
た	ŋ	`	お	店	に	入	つ	た	ŋ	す	る	時	ス	タ	ツ	フ	は	あ	ま
り	あ	٧١	さ	つ	を	l	ま	せ	h	0									
	つ	ぎ	に	日	本	人	の	家	で	は	<	つ	を	ぬ	い	で	ス	IJ	ツ
パ	を	は	カュ	な	け	れ	ば	な	ŋ	ま	せ	ん	で	l	た	0	<u>۲</u>	イ	レ
で	٤	<	ベ	つ	な	ス	IJ	ツ	パ	に	は	き	Ŋ,	え	ま	l	た	0	オ
_	ス	<u>۱</u>	ラ	IJ	ア	で	は	`	家	の	中	で	`	ど	Ľ	で	ŧ	<	つ
を	は	٧١	て	ŧ	V	٧١	で	す	0										
	友	だ	ち	0	お	母	さ	ん	に	晩	ご	飯	を	作	っ	て	۷١	た	だ
い	て	,	食	ベ	る	前	に	,	み	な	さ	ん	は	,	Γ	۷١	た	だ	き
ま	す	J	٤	言	٧١	ま	し	た	o	そ	し	て	,	友	達	は	お	は	し
の	使	٧١	方	を	教	え	て	<	れ	ま	し	た	o	た	٤	え	ば	,	食

ベ な が ベ 物 لح だ だ ら 食 あ そ  $\lambda$ で は め た 9 9 ŋ ち に け た ŋ す お わ  $\lambda$ お ٧V て は ٧V な か ゃ 0 る と す 卜 IJ ア に そ な き び し で オ ス は ん 0 が う あ り ٧, ゅ か ん ま せ ん 0 ナ と チ ち が あ 他 に Ł 7 エ ケ 卜  $\mathcal{O}$ が V) 9 ツ て お Ł し ろ ٧V か 5 し 5 ベ て 下 さ ٧V ح う ざ 聞 < て あ ŋ が ٧١ ٧V て れ と ま し た れ で 終 わ ŋ ま す デ か ア ア ほ  $\mathcal{O}$ イ H 本 で は 道 を 歩 き な が 6 食 ベ た り 飲 W だ ŋ し て は だ  $\otimes$ で す で ŧ オ ス 1 IJ ア で ボ は 多 < 0 人 は 道 で 食 ベ た り と < に メ ル ル で は  $\exists$ ヒ を 飲 だ り L ま す ん 0 人 本 で は 電 車 に 乗 る と か  $\mathcal{O}$ に  $\Diamond$ 1 日 ほ ` わ < を か け な 1/ ょ う に け 11 た 11 電 話 を ナ 干 F に L ま す 電 車 に 乗 て 11 る 人 は け 0 0 が 使 ス 11 た 11 を ま す 話 L ま  $\lambda$ 才 1 ļ, せ 0 ラ IJ ア <ち た う で は 多  $\mathcal{O}$ 人 た は け 11 V を 使 け な す L お لح を さ ٧V で 大 え で 話 L ま 0

	7	月	4	日		月	曜	日			は	れ							
	今	日	`	私	の	ホ	ス	<u>۱</u>	マ	ザ	_	٤	い	つ	し	ょ	に	近	所
で	お	き	て	い	る	カュ	ん	き	よ	う	ŧ	ん	だ	い	に	つ	い	て	話
L	合	う	会	ぎ	に	さ	ん	ÿ,	し	た	0	今	口	は	,	ت	み	の	4
ん	だ	い	ک	水	の	む	だ	使	い	に	つ	٧١	て	話	し	あ	つ	た	0
	さ	11	き	ん	~"	み	を	~"	み	ば	٢	に	す	て	な	11	で	Γ	ポ
1	す	て	J	す	る	人	た	ち	が	ふ	え	て	V	る	そ	う	だ	0	私
は	`	道	で	~	ツ	<u> ۲</u>	ボ	1	ル	P	コ	ン	ビ	=	0	ビ	=	_	ル
<i>క్</i>	<	ろ	を	す	て	て	V	る	高	校	生	を	見	て	ょ	<	な	V	と
思	2	た	0	そ	れ	カュ	6	学	校	の	ま	わ	ŋ	や	٦	う	え	ん	な
ど	で	た	<	さ	ん	0	٣,	み	が	あ	2	て	ŧ	`	だ	れ	ŧ	ひ	ろ
わ	な	١١	か	Ġ	`	ざ	ん	ね	ん	だ	0	だ	カュ	Ġ	月	に		回	`
学	生	た	ち	٤	٧١	2	l	ょ	に	J	み	ひ	ろ	٧١	を	す	る	٦	٤
に	き	め	た	0	オ	_	ス	<u>۲</u>	ラ	IJ	ア	に	帰	る	前	に	`	私	は
_"	み	ひ	ろ	V	に	5	ん	カュ	で	き	る	カュ	6	`	町	を	き	れ	٧١
に	L	た	V	٤	思	2	た	0											
	そ	れ	か	Ġ	`	長	V	時	間	シ	ヤ	ワ	_	を	あ	び	る	人	た
ち	が	V	た	り	`	水	を	出	L	た	ま	ま	L	ょ	つ	き	を	あ	5
2	た	ŋ	`	は	を	み	が	١١	た	り	し	て	l	ま	う	人	た	ち	が
V	る	۲	٤	を	知	っ	て	f	2	た	い	な	٧١	٢	思	つ	た	0	す

<"	に	カュ	い	け	つ	ほ	う	ほ	う	が	思	い	つ	カゝ	な	カュ	つ	た	け
اخ	`	水	の	せ	つ	Þ	<	を	す	る	た	め	に	ポ	ス	タ	_	を	作
2	て	`	近	所	の	人	た	ち	に	あ	げ	る	2	と	に	L	た	0	
	日	本	に	り	ゆ	う	が	<	し	て	V	る	間	,	会	ぎ	に	さ	ん
カュ	で	き	て	,	と	て	ŧ	V	V	け	V	け	ん	に	な	つ	た	し	`
色	々	学	ベ	た	カュ	Ġ	よ	カュ	2	た	!								

### **Question 8**

Ques	tion																		
				タ	イ	ム	<u>۲</u>	ラ	ベ	ル									
											ダ	=	工	ル	•	ス	3	ス	
	ぼ	<	は	仕	事	の	帰	り	に	黒	い	ね	٢	が	つ	٧١	て	来	て
V	る	۲	٤	に	気	づ	V	た	0	あ	ま	り	に	ŧ	大	人	し	カュ	2
た	カュ	5	`	す	て	ね	٢	だ	٤	思	つ	た	0	٤	り	あ	え	ず	ひ
き	٤	る	), j	と	に	L	た	0											
	_	週	間	が	す	ぎ	た	ل	ろ	に	`	\$	L	ぎ	な	٤	٢	が	お
き	始	め	た	0	~	ツ	パ	_	が	ね	る	所	に	^	ん	な	物	を	見
つ	け	る	ょ	う	に	な	0	た	0	き	の	う	は	ア	ン	モ	ナ	イ	1
の	よ	う	な	<i>\\</i>	L	で	,	今	日	は	ハ	イ	テ	ク	な	٤	け	٧١	0
ょ	う	な	ア	ク	セ	サ	IJ	_	だ	つ	た	0	ま	ど	を	L	め	て	V
た	か	Ġ	`	外	で	ひ	ろ	つ	た	物	じ	や	な	١١	٤	思	つ	た	0
	少	し	\$	り	す	ぎ	だ	と	思	٧١	な	が	5	`	カ	メ	ラ	を	IJ
ビ	ン	グ	に	お	\ \	て	`	け	٧١	た	V	の	ア	プ	IJ	٤	つ	な	げ
た	0	仕	事	を	l	な	が	6	ア	プ	IJ	を	ち	Ĝ	ち	Ġ	見	た	け
ど	`	朝	の	間	は	何	ŧ	カュ	わ	つ	た	7.	٤	は	な	Ÿ,	つ	た	0
で	ŧ	`	1	2	時	U	2	た	り	に	~	ツ	パ	_	が	き	ゆ	う	に
お	き	て	`	ソ	フ	ア	_	の	下	に	入	つ	た	0	ほ	ん	0	V	2
L	ゆ	ん	の	間	に	カ	メ	ラ	が	き	れ	た	が	`	す	<"	に	な	お
7	て	`	~	ツ	パ		は	何	カュ	四	カュ	<	٧١	物	٤	ね	て	た	0

				_															
が	め	ん	を	大	き	<	し	て	み	た	5	`	Γ	え	え	え	!	?	_
٤	さ	け	ん	で	し	ま	つ	た	0	ま	わ	り	の	人	に	ジ	П	ジ	П
見	6	れ	て	`	1	イ	レ	に	に	げ	た	0	Γ	モ	ナ	IJ	ザ	を	け
ん	さ	<	す	る	と	Γ	ど	ろ	ぼ	う	J	,	Γ	ぬ	す	ま	れ	た	J
٤	V	う	۲	٤	ば	が	次	々	出	た	0	し	カュ	ŧ	,	書	カュ	れ	た
き	じ	は	す	ベ	て	+	年	前	だ	2	た	0							
										<u> </u>									

#### \*\*DISCLAIMER\*\*

While every attempt has been made to provide suitable/common answers for the questions posed in this Practice Examination, errors and omissions remain the responsibility of the teachers using this material and the JLTAV will not be responsible for providing judgements on the appropriateness of answers provided by students using this material.

This Practice Examination is NOT endorsed by the VCAA

You are advised to familiarise yourself with previous examiner's reports that can be found on the VCAA website as well as utilise the examinations from previous years.

https://www.vcaa.vic.edu.au/curriculum/vce/vce-study-designs/japanesesecondlanguage/Pages/Index.aspx

For further information on the services of the JLTAV please consult our website:

http://www.jltav.org.au/

© JLTAV 2022